

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成25年度採択課題）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
25-4	道路橋示方書の改定を踏まえた性能設計概念に基づく設計照査手法についての研究開発－特に下部構造物を中心として	岐阜大学 教授 本城 勇介	B

<研究の概要>

道路橋示方書は、H23年度改定に引き続き、数年以内に性能設計概念の徹底と、部分係数法による設計照査を全面的に導入した大幅改定が予定されている。本研究はこの改定に備え、この概念と手法を全面的に取り入れた、道路構造物への要求の高度化と多様化への対応、建設や維持補修のコストの縮減等を目指した設計照査手法を廻る諸問題に、具体的な解を示すことにより、性能設計の導入の効果が速やかに発揮されることを目的としている。

<中間評価結果>

データベースに基づく地盤反力係数の推定方法など、概ね順調に研究が進捗していると評価する。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 実施内容が広範囲であることから、最終年度は、研究を収束させる意識を持って成果を取りまとめること。
2. 今後の橋梁下部工の設計が、従来と比較して改善される点を、具体的かつ解りやすく示すことを意識して、成果を取りまとめること。